

2024 年度

一般財団法人 林業経済研究所研究奨励事業（小瀧奨励金）助成対象者の決定について

研究奨励委員会委員長 古井戸 宏通

当研究所の2024年度研究奨励事業について、多数のご応募をいただきありがとうございました。5月2日に研究奨励委員会を開催し、平山和虎氏（東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程）の「世界遺産地域を含む山道管理の実態—熊野参詣道伊勢路の管理体系を事例として—」を採択しました。採択理由は、研究の着眼点が大変興味深く、新規性があり、準備状況も良好で、研究の目的・方法のいずれにおいても、候補者自身の研究を深化させることで、林業経済研究分野において活躍することが期待できると考えたからです。

惜しくも採択に至らなかった複数の応募課題については、内容的には興味深いものの、準備状況、学術的な新規性（先行研究との関連）、実行可能性（調査の実現性）、目的と手法の対応等についての記述がもう少し書き込まれていれば採択に値する、といった意見が出されたところです。

採択された平山氏はもちろん、他の応募者の方々におかれても、ご自身の研究を深めていただければと念じています。

《編集後記》

【ふらふら所長の周辺探検 第9回】第8回の「神田川」編続き。まず訂正。前回、神田川は江戸城の外濠ではないと書いたが、実際には、洪水対策ともう1つ、江戸城防衛上の役割（つまり外濠）も大工事の目的とされていたようだ。

さて、「お茶の水」の地名については、JR御茶ノ水駅西口、お茶の水橋の袂にある交番の横に、その由来を伝える石碑が立っている。碑によれば、神田川の大工事が始まる以前、掘削工事により消滅する神田山の麓に高林寺という禅寺があった。寺の庭より湧き出る良水を将軍秀忠に献上したところ、お茶に用いられてお褒めの言葉を賜った。それから、この寺は「お茶の水高林寺」と呼

ばれるようになり、寺周辺も「お茶の水」と呼ばれるようになったという。

神田川右岸、JR御茶ノ水駅に沿った通りは、飲食店・書店・画材店等が軒を連ねる商店街だが、その名前を「茗溪通り」という。また以前の後記に書いたように、湯島は旧・東京高等師範学校、東京教育大学、現・筑波大学の発祥の地だが、これらの学校の同窓会は「茗溪会」と呼ばれる。ここで使われる「茗溪」は、大掘削による荒々しい溪谷と法面の緑陰から、この地が景勝地として有名になり、お茶の水にある溪谷であることから、雅称として「茗」（漢語で茶の意）「溪」（溪谷）と呼ばれたことが起源である。（土屋）

研究所業務日誌（2024年5月）

5月1日 第1回調査研究企画委員会（オンライン）
5月2日 第1回研究奨励委員会
第1回運営会議
5月8日 監査
5月19日 第2回研究奨励委員会（オンライン）
5月20日 『林業経済』5月号校了

5月23日 第1回理事会
5月24日 2024年度「緑の雇用」事業の評価に関する調査第1回検討委員会
5月30～31日 森林所有者による「森林サービス産業」推進事業第2回現地検討会

林業経済（月刊）

（禁無断転載）

定価 880円
（本体価格 800円）

編集発行人 永田 信

発行所 一般財団法人 林業経済研究所

〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-6 高関ビル3A

電話 03-6379-5015 FAX 03-6379-3210

E-mail : office@foeri.org URL : <http://www.foeri.org/>

☆本誌は予約購読を原則とします。購読ご希望の方は直接、当研究所までお申し込みください。

1年 10,560円（送料共）（本体 9,600円、消費税 960円）

学生および院生は1年 5,500円（本体 5,000円、消費税 500円）になります。

購読料の振込先

口座名義人：一般財団法人 林業経済研究所

銀行の場合：三菱UFJ銀行 秋葉原支店

普通預金口座 4560904

郵便局の場合：振替口座 00110-1-147629

印刷 株式会社ソウブン・ドットコム 東京都荒川区西尾久7-12-16